

説明会開始までお待ちください

自治体との電子契約締結のメリットと対応方法

運営：弁護士ドットコム株式会社

目次

1. 電子契約の概要とメリット
2. 電子契約サービス「クラウドサイン」とは
3. クラウドサインでの契約締結方法
4. よくある質問

弁護士ドットコム

会社名	弁護士ドットコム株式会社（英文表記：bengo4.com,Inc.）
所在地	〒106-0032 東京都港区六本木四丁目1番4号 黒崎ビル6階
設立	2005年7月4日
資本金	454百万円（2023年3月現在）
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：6027） 2014年12月11日上場



元榮 太一郎
創業者
代表取締役社長
弁護士

弁護士ドットコムとは

日本最大級の法律相談ポータルサイトです。
 弁護士への無料相談、地域や分野などから弁護士や法律事務所の検索サービスを始め、
 法律トラブルの解決をサポートするコンテンツを多数ご用意しています。



紙とハンコの課題を解決する 電子契約サービス



国内電子契約市場を牽引

日本の電子契約市場の立ち上がりを支え、**政府へのIT化戦略のご提言**を始めとし、
電子契約の普及とともに、事業を成長させてきました。



政府へのIT化戦略のご提言



クラウド型電子署名サービス協議会の設立

電子契約の概要とメリット

紙契約が引き起こす課題

製本や郵送の準備に
手間がかかる…

押印のために出社を
しなければならない



業務スピードの低下

契約締結までに
1週間以上必要

過去に締結した
契約書の確認に
時間がかかる

紙契約が引き起こす課題

人件費

郵送費

保管費

膨れる間接コスト

印紙代



インターネット上で 契約締結から契約書管理まで可能なサービス



契約締結のスピードアップ&業務効率化

従来の紙と印鑑での契約締結



クラウドサインでの契約締結



サイトへの文書のアップロード・メール送信のみで契約が完了
スピード締結を実現します

コストの削減



いつでもどこでも契約締結が可能に



✓ 在宅勤務で契約

✓ 出張中・移動中にも契約

電子契約サービス「クラウドサイン」とは

シェアNo.1の電子契約サービス「クラウドサイン」



導入社数 **250万社超**

国内でNo.1の実績^{※1※3} / 認知度^{※2}があり
貴社のみならずお取引先様も安心安全
にご利用頂けるサービスです

TOYOTA



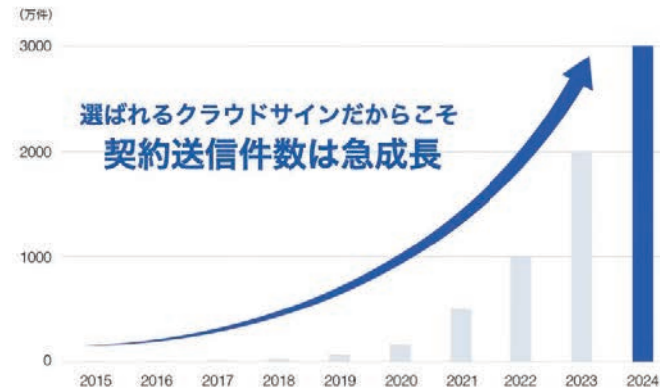
NOMURA

東京海上日動



mercari

累計送信件数 **3000万件超**



※1: 株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」(電子契約ツール、2022年度実績)
 ※2: 株式会社マクロミル(委託調査)、電子契約サービスを利用している20~59歳の男女1,034名を対象にインターネット調査を実施(調査期間: 2024年1月26日~1月28日)
 ※3: 全国の自治体が公開している公募・入札・プロポーザル情報から有償契約後導入が決定している自治体数を自社調査と比較。2025年8月1日時点調べ。

各業界のリーディングカンパニーがクラウドサインを導入

業界業種問わず、大手企業を中心に多くのリーディングカンパニーに導入いただいている
電子契約市場で売り上げシェアNo.1※1のサービスです。

銀行・証券・保険・その他金融



ITサービス・情報・通信・人材・メディア



建設・不動産



輸送機器・食品・化学・医薬品・その他製造



インフラ



その他



※1：株式会社富士キメラ総研「ソフトウェアビジネス新市場2023年版」（電子契約ツール、2022年度実績）
 ※2：導入企業はSMBCクラウドサインなどのOEM商材を含む
 ※3：弁護士ドットコム社のIR資料から一部抜粋

導入自治体の国内シェアNo.1※

全国300以上の自治体で運用中

クラウドサイン導入自治体（一部抜粋）

北海道・東北地方

- 秋田県 (2022.10～)
- 青森県 (2022.11～)
- 宮城県 (2025.4～)

関東地方

- 茨城県 (2021.5～)
- 埼玉県 (2022.4～)
- 東京都 (2022.4～)
- 千葉県 (2023.10～)
- 栃木県 (2024.4～)

中部・北陸地方

- 長野県 (2022.8～)
- 富山県 (2022.10～)
- 岐阜県 (2023.7～)
- 新潟県 (2023.10～)
- 愛知県 (2023.10～)
- 石川県 (2025.10～)

近畿地方

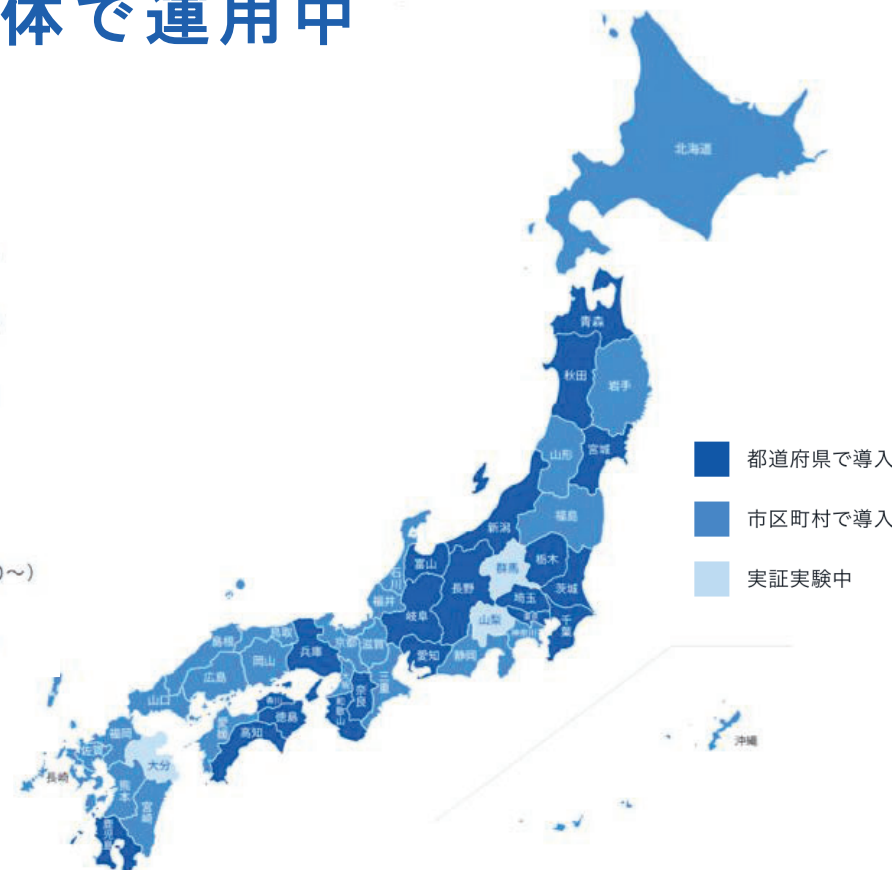
- 兵庫県 (2023.8～)
- 奈良県 (2024.8～)
- 和歌山県 (2025.2～)
- 三重県 (2025.10～)

中国・四国地方

- 高知県 (2022.5～)
- 徳島県 (2023.9～)
- 香川県 (2024.1～)

九州・沖縄地方

- 鹿児島県 (2024.10～)
- 長崎県 (2025.9～)



※：全国の自治体が公開している公募・入札・プロポーザル情報から有償契約後導入が決定している自治体数を自社調査と比較。2025年8月1日時点調べ。



電子署名法

クラウドサインは電子署名法2条1項と同法3条に準拠する仕様を標準仕様としており、契約の真正性における推定項を得やすいサービスでございます。



電子帳簿保存法

弁護士監修の機能開発で電子帳簿保存法に準拠「認定タイムスタンプ」を採用し、法的に安心してご利用いただけます。現行の法令への対応だけでなく、これからの電子契約自体の普及に向けて、積極的に活動を行っております。

2021年2月5日

**総務省・法務省・経済産業省・財務省よりクラウドサインが日本初、
電子署名法第2条第1項に定める「電子署名」に該当すると回答。****利用者の指示に基づきサービス提供事業者自身の署名鍵により暗号化等を行う電子契約サービスに関するQ&A**

サービス提供事業者が利用者の指示を受けてサービス提供事業者自身の署名鍵により暗号化等を行う電子契約サービスに関して、電子署名法上の位置付けを明確にするため、Q&Aを作成いたしました。

[電子署名法第2条関係Q&A\(令和2年7月17日\)](#) [PDF: 221KB][電子署名法第3条関係Q&A\(令和2年9月4日\)](#) [PDF: 162KB]**産業競争力強化法第7条第3項の規定に基づく回答について**

産業競争力強化法第7条第3項の規定に基づき、次のとおり回答しましたので、お知らせします。

回答日	事業者名	回答等
令和3年2月5日	弁護士ドットコム株式会社	照会書【PDF】 回答書【PDF】

[民事局フロントページへ戻る](#)

クラウドサインでの契約締結方法

事業者様にクラウドサインで契約書が送信されると
皆さまにはクラウドサインからメールで確認依頼が届きます

●●市 ●●課（●●市）から 「デモ用_秘密保持契約書」の確認依頼が届いていま
す 受信トレイ x

クラウドサイン <support@cloudsign.jp>
To 自分

13:19 (9分前) ☆ ↶ ⋮

The screenshot shows an email interface with a central content area. At the top of the content area is the CloudSign logo. Below it is a blue header bar with the text "確認依頼". The main body of the email contains the following text: "株式会社デモ商事 田中 太郎 様" followed by "書類の確認依頼が届きました。". Below this is a horizontal line and then "デモ用_秘密保持契約書" with "From ●●市 ●●課様" underneath. A prominent red button with white text says "書類を確認する (URL有効期限 2025/08/31 (日) 15:30)". At the bottom, there is a small note: "有効期限を過ぎてしまった場合は送信者に再配信を依頼してください。"

ブラウザ上で契約書の内容を確認します。

書類内容の確認

この書類を転送する 同意せず却下する

書類の内容をご確認の上、問題なければページ下部の「書類の内容に同意」ボタンを押してください。

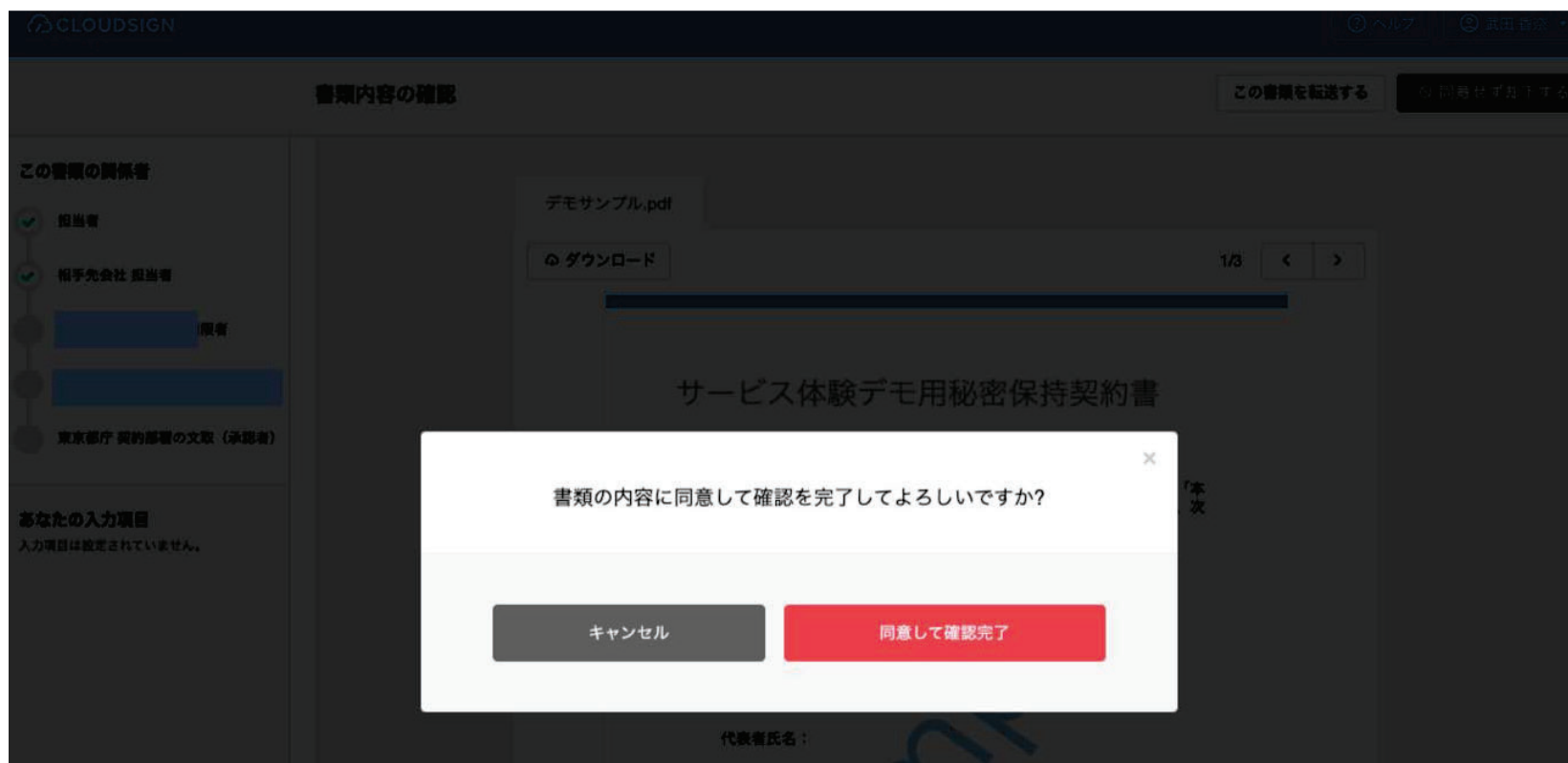
デモサンプル.pdf

ダウンロード 1/3 < >

サービス体験デモ用秘密保持契約書

各当事者は、甲乙間において取引を行う又は取引を検討する目的（以下、「本件目的」という。）として、甲乙間において相互に開示された情報につき、次のとおり秘密保持契約（以下、「本契約」という。）を締結する。

内容を確認し、問題なければ「同意して確認完了」という赤いボタンを押します。



全員がクラウドサインで同意を行うと
電子署名が付与済みのPDFファイルの契約書が添付されたメールが届く



PDFファイルが契約書原本となりますので、
必ず適切に保管・管理ください。

メール内のURLからダウンロードする場合

メール内のURLからアクセスして**契約書をダウンロード**してください。
メール内のURLは**10日間のみ有効**です。



締結完了 [共有] - 添付されていません

クラウド 花子様

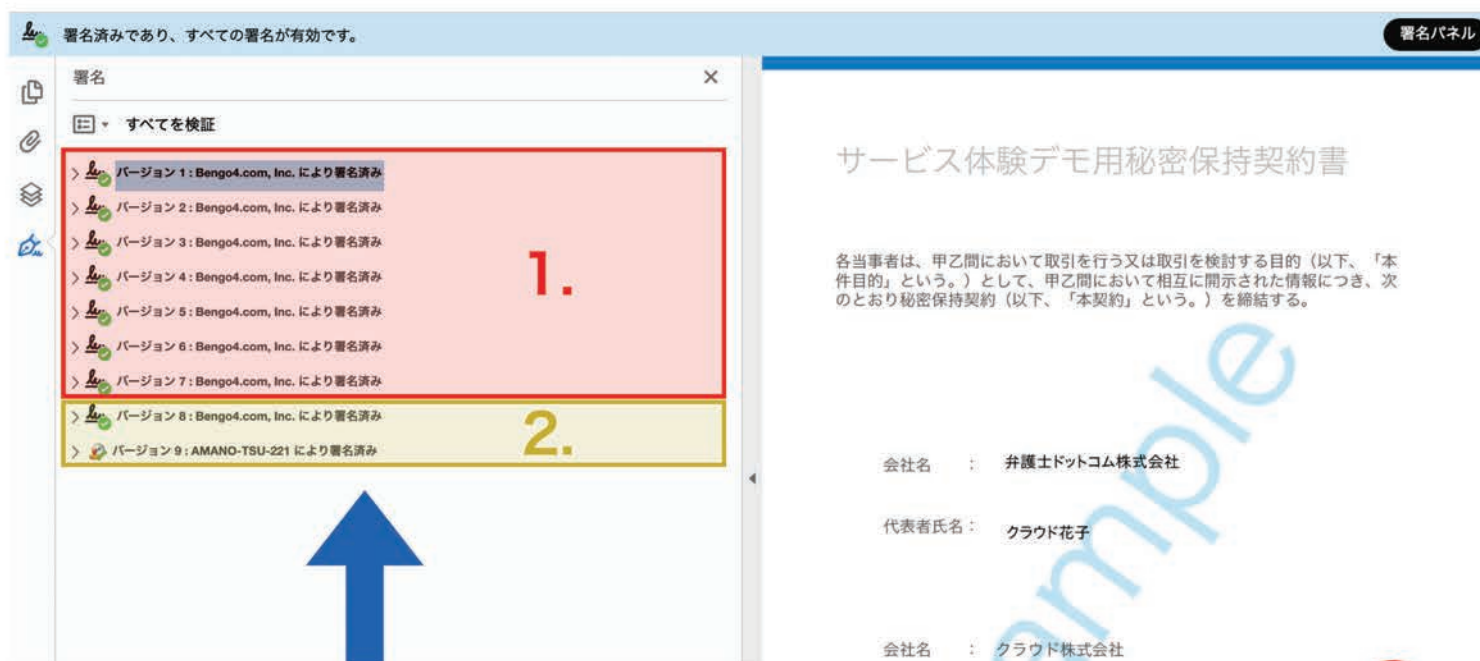
書類の合意締結が完了しました。

書類のファイルサイズが規定を超えたため、メールへの添付ができませんでした。

2019/08/01 (木) 16:00までに下のボタンよりダウンロードしてください。

書類をダウンロードする
(URL有効期限 2019/08/01 (木) 16:00)

Adobe Acrobat ReaderでPDFファイルを開き、 署名パネルで電子署名・タイムスタンプが確認できます



- 1.電子署名（赤の枠線部分）
- 2.タイムスタンプ（黄色の枠線部分）

書類の転送機能

受信した書類は他の決裁権限者に転送することが可能です。

例えば、書類を受信したが自分に決裁権限がない場合、社内の決裁権限者に転送、適切な権限者が同意することで、法的な有効性を担保することができます。



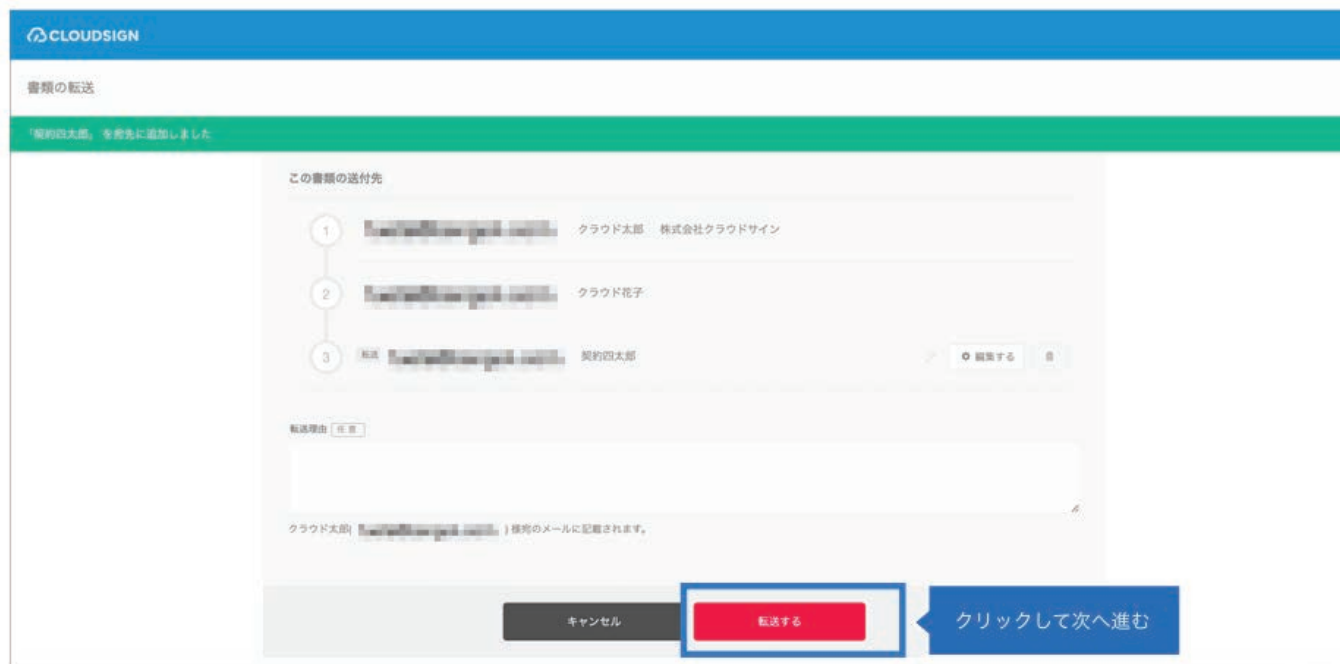
1. 契約書のURLにアクセスした後、右上の転送機能をクリックします。



2. 転送先の宛先・メッセージ (任意) を追加します。



3. 宛先追加完了後、転送するボタンをクリックして転送完了です。



転送先にクラウドサインからメールが届きます。

転送先の方が同意ボタンをクリックすると契約締結となり、電子署名が処理されたPDFが当事者のメールに添付され届きます。

1. 契約書のURLにアクセスした後、左下のアイコンをクリックした後「書類を転送する」をクリックします。



2. 転送先の情報を入力し、「同意して転送完了」ボタンをクリックし、転送完了です。



転送先にクラウドサインからメールが届きます。

転送先の方が同意ボタンをクリックすると契約締結となり、電子署名が処理されたPDFが当事者のメールに添付され届きます。

- **転送は「受信者」が行うもの**

送信者が「転送を許可」していれば、受信者は別の方へ確認・同意権限を移せます。

- **転送後は「元の人」は操作不可**

転送した瞬間に、元の受信者は書類の確認・同意ができなくなります。

- **メールアドレスの修正は不可**

宛先を間違えて転送しても、後から修正や取り消しはできません。

- **履歴はすべて残る**

「誰が・いつ・誰に」転送したかは、合意締結証明書にしっかり記録されます。

よくある質問



事業者側もクラウドサインとの契約が必要ですか？

不要です

アカウント作成は不要です。
費用もかかりません。





インストールなどの
事前準備が必要ですか？

不要です

インターネットを利用して締結をします。

推奨環境：Chrome、Safari、Firefox、Microsoft Edge

※Internet Explorerは非推奨です





締結後の書類は
どう保管すればいいですか？

PDFファイルが原本となります。
PDFファイルを可読性・検索性を担保できる場所で
保管してください

■ 電子帳簿保存法に対応した保存方法の詳細はこちら

<https://help.cloudsign.jp/ja/articles/5675348>



真実性確保の要件 ※ 1 or 2 の対応を推奨

1. 訂正削除の防止に関する事務処理規程の備付

「電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程」を作成することで、ITサービスの導入無しで対応可能。
国税庁のHPよりサンプルのダウンロードできます。

2. クラウドサインの導入

1とは別の対応方法として「データの訂正削除を行なった場合にその記録が残るシステム又は訂正削除ができないシステムの利用」の要件が設定されています。
クラウドサイン上に保存された契約書は訂正・削除ができないため、要件を満たします。

検索機能の確保の要件 ※ 1 ~ 3 のどれかの対応を推奨

1. ファイル名に「取引年月日」「取引先」「取引金額」をいれる
2. 締結済み書類データの台帳をExcelなどで作成をする

締結済み書類データのファイル名に連番を付して、情報を後から検索できるように別途Excelなどのソフトで台帳を作成することで、検索機能の確保の要件を満たすことが可能です。

3. クラウドサインの導入

クラウドサインを導入した場合、受け取った書面も自動的にクラウドサイン内に保存されます。保存された契約書は、「取引年月日」「取引先」「取引金額」等の情報で検索できます。



PDFの契約書の編集は可能ですか？

ファイル名の変更は可能ですが、
マーカーを含め内容を編集すると
電子署名は無効となります。



困ったときはこちらまで

ヘルプセンター [\(https://help.cloudsign.jp/ja/\)](https://help.cloudsign.jp/ja/)

フリーの検索ワードでQ&Aを検索できます



チャットサポート

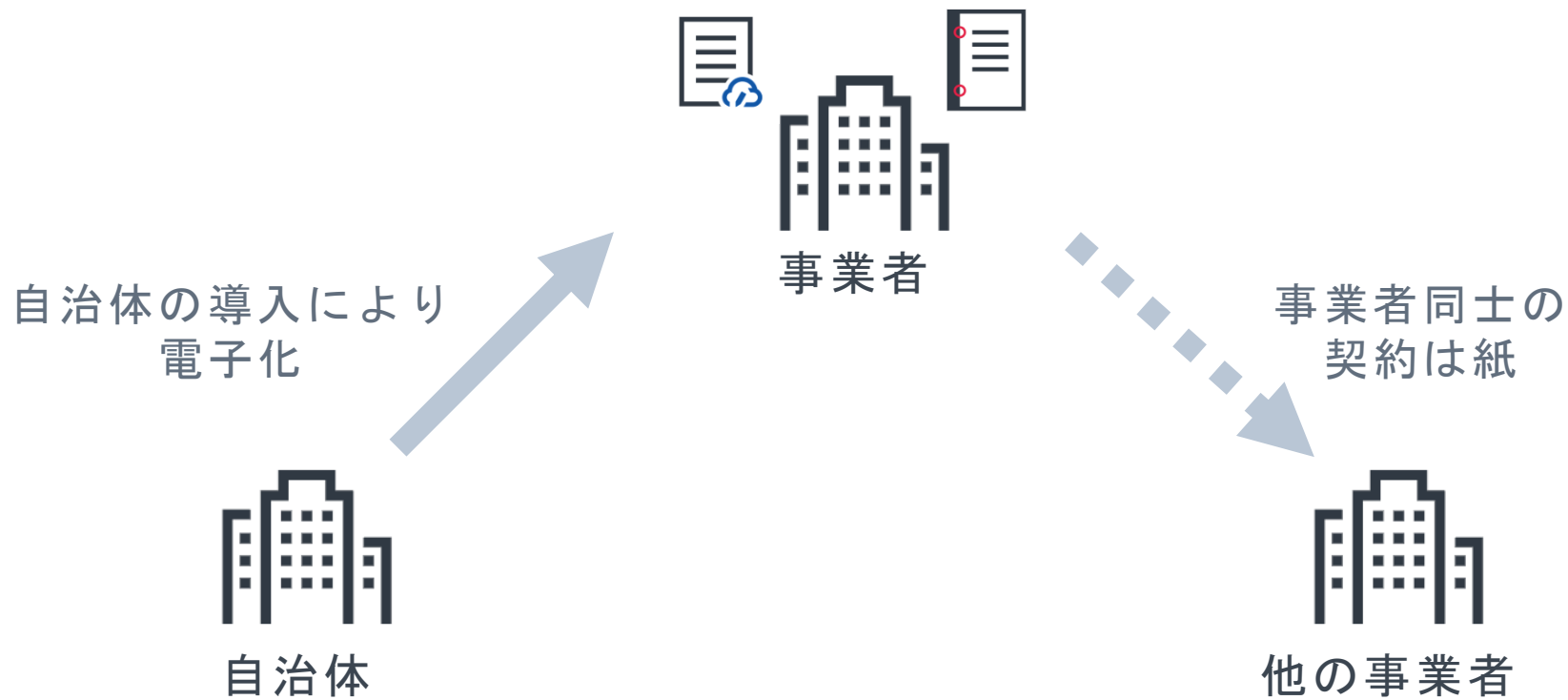
対応時間：平日10:00~18:00



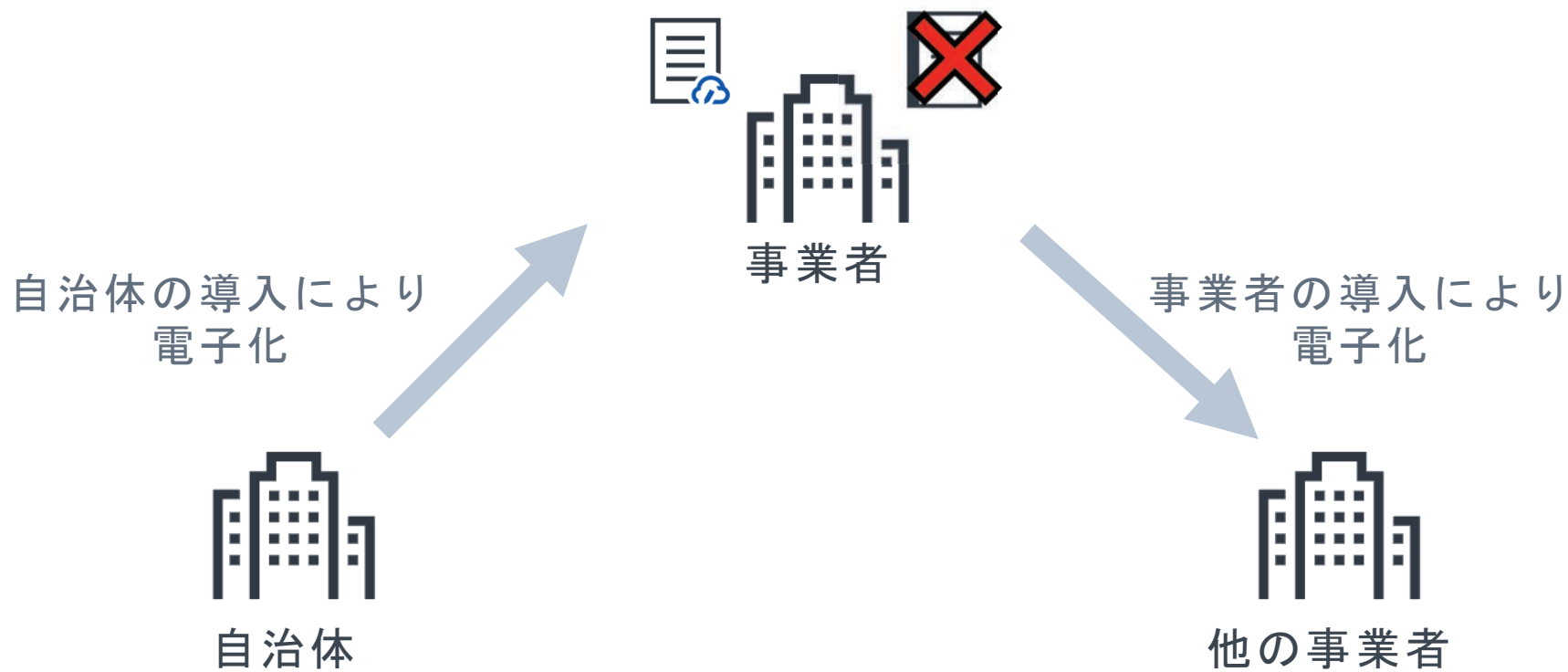
機能・操作などに関する質問は、自治体に問い合わせるのではなく
クラウドサインのヘルプセンター・チャットサポートをご覧ください

自社導入のメリット

PDFと紙の契約が混在することに



すべての契約をデジタルで管理



自治体から受け取った契約書を含め、
すべてクラウドサイン上に自動保存 & 管理



- ✔ 契約書の検索が一瞬に
- ✔ 紛失などのリスク軽減
- ✔ 契約書の期限管理も可能に

締結済みの契約書はクラウドサイン上にも自動保管書類の検索や社内共有をいつでも・どこでも行えます。またこちらから合意締結証明書のダウンロードができます。

ステータス	件名	契約開始日~契約終了日	最終更新
0 / 3	デモ用_秘密保持契約書 From 高橋 佐和 To 田口部長, 田中 太郎, 山田 次郎	未設定	田口部長 未開封
0 / 3	デモ用_秘密保持契約書 From 高橋 佐和 To ○○部長, 田中 太郎, 山田 次郎	未設定	○○部長 未開封
0 / 1	デモ用_秘密保持契約書 From 高橋 佐和 To 田中 太郎	未設定	田中 太郎 開封: 13:29
✓	デモ用_秘密保持契約書 From 高橋 佐和 To 田中太郎	未設定	2020/03/16 (月)
↓	デモ用_秘密保持契約書	未設定	2020/03/16 (月)
↓	デモ用_産業廃棄物処理委託 (収集運搬)	未設定	2020/03/16 (月)
↓	デモ用_産業廃棄物処理委託 (処分用)	未設定	2020/03/16 (月)

書類インポート機能



紙の契約書、PDFの契約書をクラウドサイン上で一元管理

BXゆとりフォーム株式会社



電子契約の導入成果

- ・ 印紙代削減
- ・ ガソリン代・駐車場代の削減
- ・ 担当のクルマでの移動時間削減
- ・ 契約書を簡単に探し出せるように

	フリープラン	有料プラン
料金	0円	月額1万円～
契約書の締結依頼送信	月上限あり	上限なし ※1件あたり200円発生
契約書のクラウド自動保存	○	○
保存済み契約書の検索	×	○
書類のインポート	×	○ ※一部プランでは不可

フリープラン登録について

フリープランは クラウドサインTOPページから登録可能

The screenshot shows the CloudSign website homepage. At the top right, there is a navigation bar with several menu items: 'クラウドサインについて', '機能・セキュリティ', '料金', '導入事例', '業界別活用', and 'お役立ち情報'. A red box highlights the '新規登録' (New Registration) button, with a red arrow pointing upwards from the main content area towards it. Below the navigation bar, a blue banner reads '10周年の感謝を胸に、これからも進化を続けます'. The main content area features the headline '取引プロセスはもっとシンプルにできる。電子契約から気軽に始めるDX' and '契約管理プラットフォーム クラウドサイン'. There are two buttons: '資料ダウンロード(無料)' and 'プランや料金について相談する'. On the right side, there are icons for 'レビュー', '契約締結', '保管', and a magnifying glass icon. A laptop and a smartphone displaying the CloudSign interface are also visible.

<https://www.cloudsign.jp/>

1. 工事及び設計等

令和8年4月以降に公告する案件

2. 物品購入等

令和8年4月以降に公告する案件

3. 集約対象役務

令和8年4月以降に公告する案件

詳しくは、札幌市公式ホームページをご覧ください。

ホーム > 観光・産業・ビジネス > 入札・契約 > **電子契約サービスの導入について**

※企業局での取扱いについては各企業局契約担当にお問い合わせください。

The screenshot shows the top portion of the Sapporo City official website. On the left is the Sapporo City logo and name. To the right is a search bar with the text "お探しの情報は何ですか。" and a "検索" button. Below the search bar are several utility links: "救急当番医", "緊急時の連絡先", and "避難場所". There are also buttons for "文字サイズ" (with sub-options for "縮小", "標準", "拡大") and "色合いの変更". A horizontal navigation menu is visible with the following items: "ホーム", "防災・防犯・消防", "くらし・手続き", "健康・福祉・子育て", "教育・文化・スポーツ", "観光・産業・ビジネス" (which is highlighted in blue), and "市政情報". Below the navigation menu is a breadcrumb trail: "ホーム > 観光・産業・ビジネス > 入札・契約". Underneath the breadcrumb, there are social media sharing buttons: "いいね! 0", "シェアする", "ポスト", "LINEで送る", and "イイネ! BI 0". To the right of these buttons is the text "更新日: 2023年6月1日". On the left side of the page content area, there is a blue header for "観光・産業・ビジネス" and a list item: "新着情報 (観光・産業・ビジネス)". The main content area has a blue header for "入札・契約" and a decorative snowflake graphic on the right.

ご清聴ありがとうございました。